



2022年2月10日

各位

会社名：株式会社レスターホールディングス
(コード：3156 東証第一部)
代表者名：代表取締役 三好 林太郎
問合せ先：経理部長 北尾 博文
(TEL：03 - 3458 - 4623)

通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年5月12日に公表した業績予想並びに2021年11月11日に公表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年5月12日)	百万円 350,000	百万円 6,500	百万円 7,000	百万円 5,000	円 銭 166.29
今回修正予想 (B)	400,000	7,000	6,000	6,000	199.54
増減額 (B - A)	50,000	500	△1,000	1,000	33.25
増減率 (%)	14.3%	7.7%	△14.3%	20.0%	20.0%
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	323,815	6,238	5,689	4,054	134.85

(2) 修正の理由

民生機器や車載機器など様々な製品向けの半導体が逼迫し、一部の部品では調達困難な状況でありながらも、旺盛な需要により半導体及び電子部品事業や調達事業が好調に推移し増収増益の見通しです。一方で、部品不足に起因したサプライチェーンの混乱により電子機器事業においては出荷影響や施工進捗の遅れから通期業績では減益の見通しとなっております。また、資源価格高騰の影響もあり、新電力事業における電力調達価格が高止まりしていることもあり営業損失を見込んでおります。これらのプラス要因、マイナス要因それぞれ折り込み 2022年3月期通期連結業績予想を上記の通り修正いたしました。

なお、経常利益の減少は、予想作成時に「負ののれん」にかかる利益を営業外利益で見込んでいたものを実績では特別利益として認識したことによるものです。

2. 配当予想の修正について

(1) 予想の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年11月11日)	—	45円00銭	90円00銭
今回修正予想	—	55円00銭 (普通配当45円00銭) (特別配当10円00銭)	100円00銭 (普通配当85円00銭) (記念配当5円00銭) (特別配当10円00銭)
当期実績	45円00銭 (普通配当40円00銭) (記念配当5円00銭)	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	35円00銭	50円00銭 (普通配当35円00銭) (特別配当15円00銭)	85円00銭 (普通配当70円00銭) (特別配当15円00銭)

(2) 修正の理由

当期の期末配当金予想につきましては、通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回予想から特別配当10円を加えた1株当たり55円（普通配当金45円、特別配当金10円）と修正することといたします。これにより、1株当たりの年間配当金は前期実績の85円から100円（普通配当金85円、記念配当5円、特別配当10円）となる予定です。

当社は、今期の連結業績予想に基づき財務の安定性を重視しつつも、増配の実施や自己株式取得の検討等、株主各位への還元向上を図ってまいります。

また、将来の成長に向けた積極的な戦略投資や合理化投資とともに、株主還元促進との適正な資本配分を継続的に見直し、一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上に努めてまいります。

※上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績及び配当は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上